

## 戦略的研究 PG 気候危機対応研究イニシアティブ

### 委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

- 4つの気候変動関連研究プログラムの成果を出し合って統合し、社会で話題となっている、または取り組むべき課題について、発信するという国環研の気候危機に対する代表窓口のように理解した。不可欠なイニシアティブであろう。この4つに限らず、他のプログラムとの関係も保たれると理解している。
- このイニシアティブの果たす役割がわかりにくい、グローバルなPGという考え方で宜しいか。

今後への期待など

- この気候危機対応研究イニシアティブの任務が、全体のシンクタンクの役割であるなら、それで面白い役割を果たせると期待する。このチームは無理にテーマ設定し、解決する型でなくともよいように思う。新しいタイプの研究チームだとすれば納得でき、期待できるチームである。
- 研究所のまとめという視点で、国環研の4つのプログラムをどのように包括していくのか、プロセスと成果を考慮して計画されることを期待する。

### 主要意見に対する国環研の考え方

- ①ご指摘の通り、4つの気候変動関連研究プログラム以外のプログラムとの関係も視野に入れて活動します。
- ②本イニシアティブは科学的基礎、適応、緩和をすべて含む大きな傘のような役割を果たすものであり、スケールは全球に限らず、地域も対象にします。
- ③本イニシアティブでは、社会の状況を見て、事前に想定していなかった研究テーマをプログラムに提案することがありえますし、社会に向けたメッセージを発信する役割は政策提言を含みうるものです。また、プログラム横断の新たな研究テーマをフレキシブルに提案する機能もここで担います。